

平成 17 年度公共施設循環バス（ふれあいバス）利用実績

■ 概 要

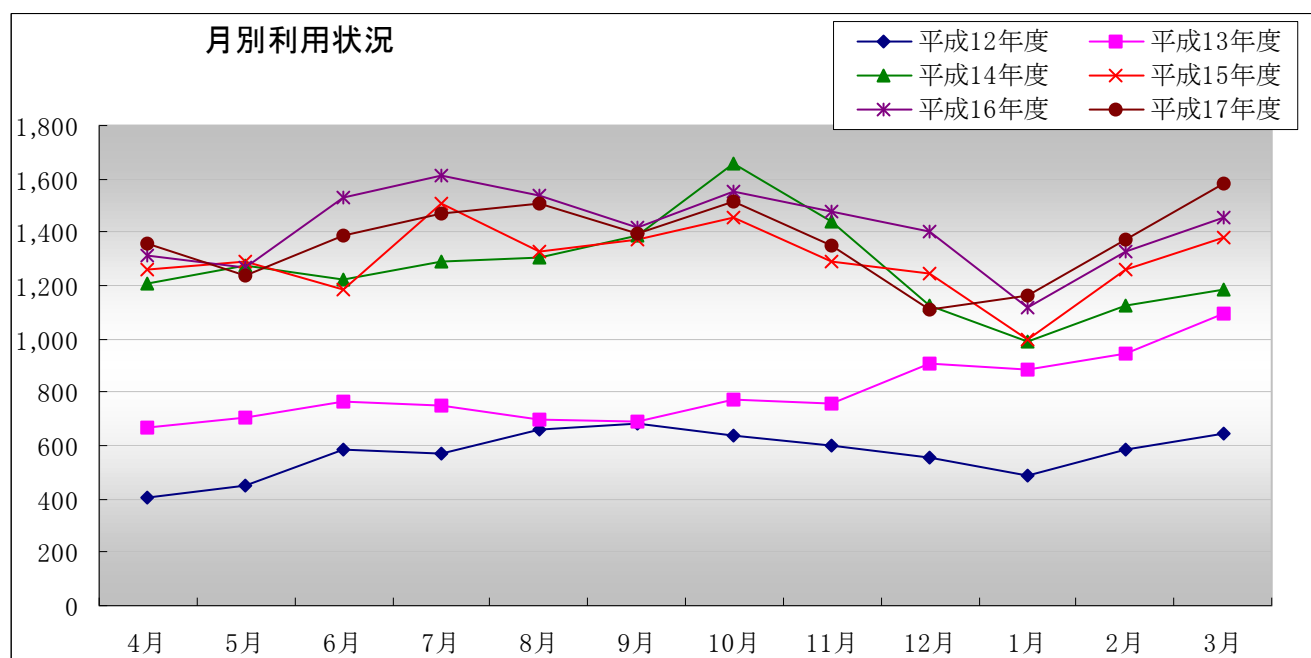
平成 12 年 4 月 1 日運行を開始し、当初は 1 台で 3 コースを各コース週 2 日ずつ運行していましたが、平成 13 年 11 月 22 日より 2 台で 4 コースを各コース週 3 日ずつ運行しています。運休日については、1 台運行時は公共施設の休館日である月曜日でしたが、2 台運行より、北部コースを日曜日、南部コースを月曜日とし、年末年始を除き毎日運行していることになっています。

平成 17 年度には、柏原地区において「柏原下」停留所を新設し、公共交通の空白地域となっていた上肝川への乗り入れを開始しています。

■ 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 12 年度	403	449	582	569	663	680	636	600	557	491	587	644	6,861
平成 13 年度	671	708	766	751	700	693	771	756	910	888	948	1,094	9,656
平成 14 年度	1,207	1,278	1,223	1,291	1,308	1,386	1,655	1,437	1,125	987	1,125	1,187	15,209
平成 15 年度	1,257	1,292	1,185	1,509	1,328	1,369	1,452	1,289	1,244	999	1,261	1,381	15,566
平成 16 年度	1,312	1,264	1,529	1,610	1,538	1,416	1,550	1,477	1,404	1,114	1,326	1,456	16,996
平成 17 年度	1,359	1,235	1,391	1,469	1,510	1,395	1,515	1,352	1,111	1,162	1,369	1,580	16,448
対前年度比	1.04	0.98	0.91	0.91	0.98	0.99	0.98	0.92	0.79	1.04	1.03	1.09	0.97

※ 平成 13 年 11 月 22 日より 2 台運行



ふれあいバス利用者は、年々増加傾向にありましたが、平成 16 年度をピークに平成 17 年度は若干減少しています。これは、バス利用者が固定化されていることが要因となっていると考えられます。

今後、利用者増を考えた際には、これまでのアンケート等から、運行時間の短縮、通勤、通学での利用の充実などを加味したルート設定等により、これまでふれあいバスを利用することが少なかった生産年層を含めた新たな利用者の開拓が必須となります。

季節ごとに利用状況を見てみると、夏から秋にかけて利用者が多く、冬季は若干悪い傾向にあります。これは、利用者の外出状況に起因するところだと推測されます。

平成 17 年度運賃収入

	輸送収入額	利用者数	うちグランドパス利用者	グランドパス利用者割合	うちスクールパス利用者	スクールパス利用者割合	1人当たり平均運賃
4月	155,437	1,359	528	39%	19	1.4%	114.4
5月	135,794	1,235	485	39%	29	2.3%	110.0
6月	149,529	1,391	612	44%	11	0.8%	107.5
7月	164,545	1,469	563	38%	36	2.5%	112.0
8月	177,152	1,510	529	35%	9	0.6%	117.3
9月	166,707	1,395	479	34%	9	0.6%	119.5
10月	169,602	1,515	529	35%	23	1.5%	111.9
11月	160,801	1,352	457	34%	26	1.9%	118.9
12月	126,351	1,111	417	38%	23	2.1%	113.7
1月	135,793	1,162	370	32%	11	0.9%	116.9
2月	146,333	1,369	439	32%	4	0.3%	106.9
3月	173,710	1,580	526	33%	34	2.2%	109.9
合計	1,861,754	16,448	5,934	36%	234	1.4%	113.2

	金額(円)	対前年度比
平成 12 年度	1,012,807	
平成 13 年度	1,301,509	1.29
平成 14 年度	1,964,565	1.51
平成 15 年度	1,884,166	0.96
平成 16 年度	1,916,404	1.02
平成 17 年度	1,861,754	0.97
前年度対比	0.97	

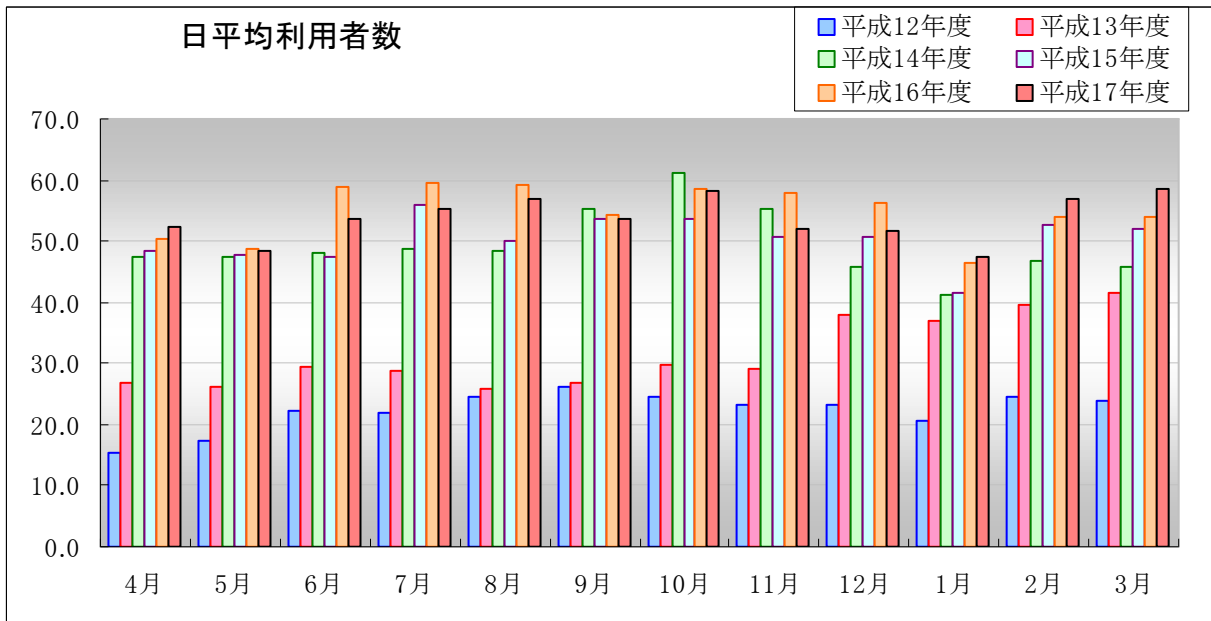
運賃収入額については、平成 14 年度をピークに平成 17 年度は減少傾向にあります。

利用者の伸び率と運賃収入の伸び率に違いがあるのは、グランドパス 65 の利用者が占める割合が高いことを表しています。グランドパス 65 は、阪急バス全線フリーパスとなるため、ふれあいバスにおいて利用した場合の 1 回あたりの運賃は 52.69 円で計算します。(阪急バスの規程による)。

また、平成 18 年度からは、70 歳以上の高齢者、身体・知的精神障害者の手帳保持者が無料となるため、この傾向は更に進むと予想されます。

■ 日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成 12 年度	15.5	17.3	22.4	21.9	24.6	26.2	24.5	23.1	23.2	20.5	24.5	23.9	22.3
平成 13 年度	26.8	26.2	29.5	28.9	25.9	26.7	29.7	29.1	37.9	37.0	39.5	41.5	31.6
平成 14 年度	47.3	47.3	48.0	48.7	48.4	55.4	61.3	55.3	45.9	41.1	46.9	45.7	49.3
平成 15 年度	48.4	47.9	47.4	55.9	50.1	53.7	53.8	50.6	50.8	41.6	52.5	52.1	50.4
平成 16 年度	50.5	48.6	58.8	59.6	59.2	54.5	58.5	57.9	56.2	46.4	54.1	53.9	54.8
平成 17 年度	52.3	48.4	53.5	55.4	57.0	53.7	58.3	52.0	51.7	47.4	57.0	58.5	53.8
対前年度比	1.04	1.00	0.91	0.93	0.96	0.99	1.00	0.90	0.92	1.02	1.05	1.09	0.98

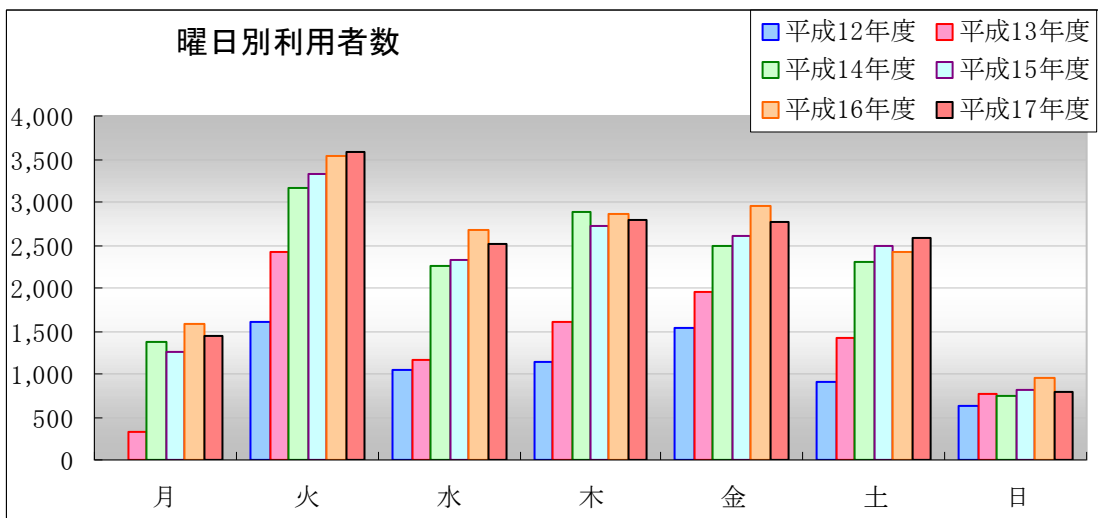


日平均利用者については、平均で 50 人を超える利用者数があり、毎月の 1 日平均乗車数が近い数値となっていることから、利用者は日常生活で利用していることが多いと予想されます。

今後は、歴史街道に始まる町の観光地を巡る移動手段や、学校の社会見学でも利用できるような運行形態も検討する必要があります。

■ 曜日別利用者数

	月	火	水	木	金	土	日	計
平成 12 年度	—	1,613	1,042	1,139	1,543	899	625	6,861
平成 13 年度	316	2,428	1,174	1,598	1,946	1,420	774	9,656
平成 14 年度	1,369	3,159	2,252	2,892	2,491	2,301	745	15,209
平成 15 年度	1,262	3,329	2,324	2,718	2,615	2,498	820	15,566
平成 16 年度	1,592	3,533	2,674	2,860	2,961	2,416	960	16,996
平成 17 年度	1,440	3,583	2,508	2,800	2,760	2,572	785	16,448
対前年度比	0.90	1.01	0.94	0.98	0.93	1.06	0.82	0.97



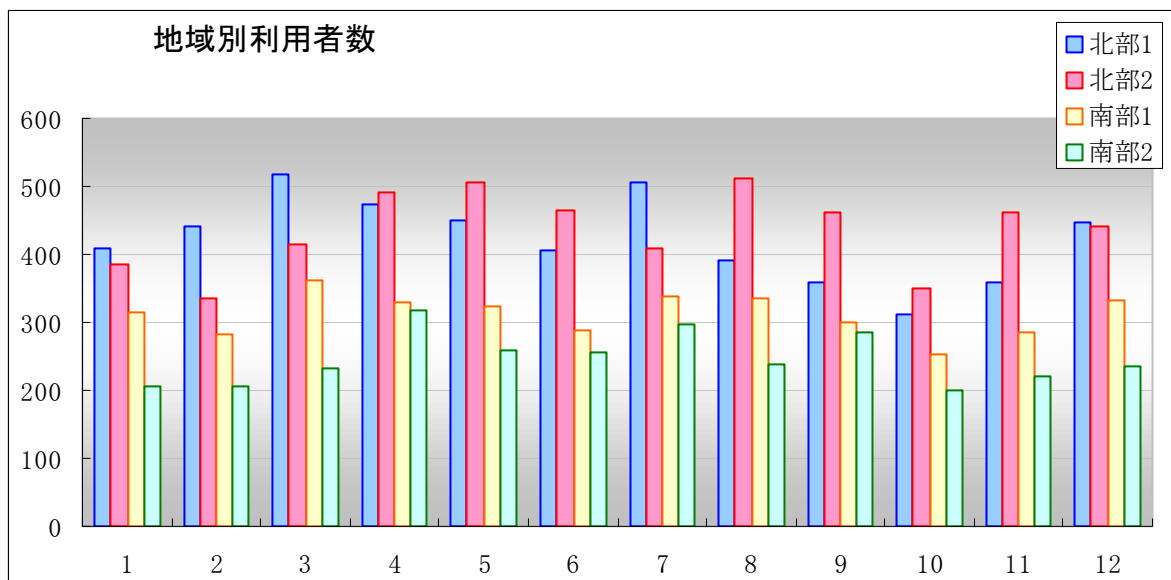
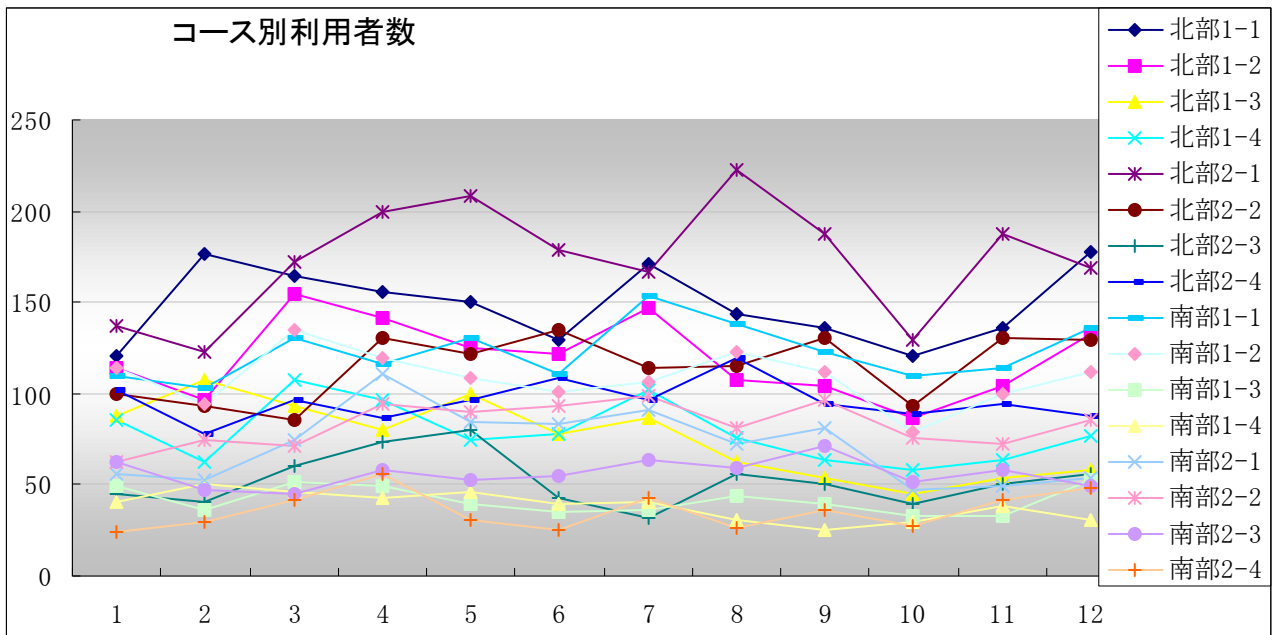
H17	月	火	水	木	金	土	日	計
南部	—	1,491	1,000	1,266	1,062	1,194	785	6,798
北部	1,440	2,092	1,508	1,534	1,698	1,378	—	9,650

曜日別に見てみると火曜日、木曜日の順に利用者が多い。日曜日が極端に少ないのは、北部コースが運休のためです。

北部コース、南部コース別に利用状況を見てみると南部コースの水・金・日の利用者数が少ない。これは、南部2コースで内馬場～伏見台～つつじが丘～ふるさと館のコースで、主にニュータウンを運行しているため、路線バスが充実しているためかと推測できます。北部コースは、平均して利用者が多い。

■ コース別利用者数

17年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
北部 1-1	130	133	131	129	154	110	149	140	102	97	157	146	1,578
北部 1-2	112	102	111	100	106	94	100	129	86	83	149	135	1,307
北部 1-3	36	36	35	50	51	54	43	67	50	45	50	45	562
北部 1-4	35	24	42	42	32	41	56	55	38	37	41	61	504
北部 1	313	295	319	321	343	299	348	391	276	262	397	387	3,951
北部 2-1	59	53	75	81	79	71	91	74	44	58	55	66	806
北部 2-2	80	79	97	107	113	79	114	79	50	66	68	70	1,002
北部 2-3	51	58	59	60	57	50	62	48	42	46	39	53	625
北部 2-4	38	27	41	34	35	44	35	32	24	37	26	41	414
北部 2	228	217	272	282	284	244	302	233	160	207	188	230	2,847
南部 1-1	165	149	193	159	182	181	178	157	152	139	193	211	2,059
南部 1-2	116	84	106	84	102	100	81	94	90	98	114	126	1,195
南部 1-3	47	53	51	78	58	72	58	53	51	48	65	64	698
南部 1-4	102	82	79	104	94	83	118	92	56	71	76	95	1,052
南部 1	430	368	429	425	436	436	435	396	349	356	448	496	5,004
南部 2-1	145	142	134	181	186	170	209	172	156	161	152	223	2,031
南部 2-2	108	106	105	117	106	98	90	72	76	80	73	106	1,137
南部 2-3	49	25	60	50	58	61	46	31	41	38	43	51	553
南部 2-4	86	82	72	93	97	87	85	57	53	58	68	87	925
南部 2	388	355	371	441	447	416	430	332	326	337	336	467	4,646
計	1,359	1,235	1,391	1,469	1,510	1,395	1,515	1,352	1,111	1,162	1,369	1,580	16,448



運行コースは、1日2往復しており、1-1が午前往路・1-2が午前復路・2-1が午後往路・2-2が午後復路で分類している。

利用者数は、各路線とも2-1・2-2の午後の便の利用が少ない。このことから、ふれあいバスを利用して、ゆうあいセンターの利用や、通院、あるいは買い物での利用が多いことが推測できます。

■ まとめ

ふれあいバスの運行に際しては、平成 14 年度に実施したアンケート調査結果で希望の多かったジャスコ猪名川店へ乗り入れを開始したり、上肝川へ乗り入れるなど利用者ニーズや地域要望を反映してきています。平成 18 年度では、つつじが丘住宅地の人口増に対応して 3 丁目から 5 丁目にバス停留所を新設したり、民田東停留所を新設します。

このように毎年度、地域の要望を聞く中で運行ルートの見直しを行ってきていますが、その反面、1 コースに要する時間、距離が非常に長くなっており、利用者からは、短縮できるような改善が求められています。

町内の地形的な問題、これからますます進むであろう高齢社会への対応等、ふれあいバスを運行していくために考えなければならない課題、問題は多くありますが、住民ニーズを的確に捉えられるように情報収集に努めてまいります。